

---

# 銀河の聖域 (サンクチュアリ)

プラチナ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

銀河の聖域サンクチュアリ

### 【Nコード】

N6726Z

### 【作者名】

プラチナ

### 【あらすじ】

相応の対価を払えば、どのような願いでも叶えてくれるという侑子。そんな彼女の元に、不思議な星の輝きを胸に秘めた者たちが訪れる……。「xxxxHOLIC」は原作4巻あたりの話、「美少女戦士セーラームーン」は原作はSuperSとスターズの間、アニメはスターズ（ネヘレニア編）とスターズ（ギャラクシア編）の間の話です。

## Aパート(前書き)

お久しぶりです。更新は2日ごとになる予定です。本編は3部構成です。

## Aパート

四月一日「まったく！なんなんだよ百目鬼の野郎！！いなり寿司、いなり寿司ってー！！あれが人にものを頼む態度か　　っ！？」

ガラッ

四月一日「こんにちはー。」

四月一日は店の扉を開けた。

？「犯人はお前だ！」

四月一日「は？」

四月一日は突然何者かに指を差された。

四月一日「あの・・・なんですか？これ。」

侑子「見りゃ分かるでしょ？テレビよ。」

四月一日「そうじゃなくて！」

四月一日「なんで扉越しにテレビなんて置いてんですかー！！」

四月一日はテレビに向かって叫んだ。

侑子「四月一日、コナン君に犯人扱いされるの巻を撮ってたのよ。」

侑子はテレビの後ろから、四月一日をビデオ撮影していた。

四月一日「人の愕然<sup>がくぜん</sup>撮ってどうすんですか!!」

侑子「そうねえ……バ デミー大賞にでも投稿するー? あんまりウケないと思うけど。」

四月一日「って! 要するに理由もなく撮ってたんすか……。疑問系だし……。」

四月一日は呆れた。

四月一日はテレビをどけて、侑子の居る店の部屋へと入った。

四月一日「侑子さんって、好きな作品多いんですね……。キャシヤーンとかCAT'S EYEとか……。」

侑子「あら。つくり話と思ってる? コナン君達の事。」

四月一日「え?」

侑子「前にも言ったでしょ? 本当に在<sup>あ</sup>ると知っているものにとっては真実だって……。」

四月一日「ああ。確か……小狼君達が店に来た時に……。」

四月一日「そういえば、今頃どうしてるんすかね? 小狼君。」

侑子「さあ? でも」

侑子「信じましょう。未来を。」

四月一日「・・・侑子さん？」

侑子の体貌たいぼうに、意味深な雰囲気たいげんきが漂ただよっていた。

侑子「・・・お客ね。」

四月一日「え？」

侑子「四月一日ー！庭まで迎えに行ってきたー！」

四月一日「なんですか！？つか・・・今回は庭にワナ仕掛けたんですか・・・？」

侑子「何ですって？」

四月一日「？っ！」

侑子「準備しなくちゃいけないの。」

四月一日「準備って・・・どんな・・・。」

侑子「客を迎える為の・・・よ。」

## Aパート（後書き）

この小説とは関係ありませんが、私の前作「絶対大丈夫だよ」について。

- 1・本文・レイアウトを修正・編集しました。
- 2・連載終了後もアクセスして下さいの皆様、ありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6726z/>

---

銀河の聖域（サンクチュアリ）

2011年12月23日00時56分発行